

平成 26 年 度

東京芸術大学
大学院音楽研究科(修士課程)
学生募集要項

この要項には、本学所定の出願書類及び出願用封筒が添付してある。

平成 25 年 7 月

東京芸術大学
〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8
電話 050 (5525) 2309

26

受験上の注意事項

- (1) 試験実施日時は、出願者数の多寡により多少変更することがある。その場合、平成25年9月12日(木)午後4時以降、試験に関する注意事項と同時に新日程を音楽学部内に掲示及び本学ホームページで発表するので、受験者本人が必ず確認すること。(「XIV入学者選抜試験実施日程表」を参照のこと。)
- (2) 試験に関する諸事項は、すべて掲示により発表するので、常に掲示に注意すること。なお、掲示に記載された番号は、本学受験票の受験番号である。
- (3) 実技試験における「試験の順番」は、係員の指示によること。
- (4) 試験当日は、定められた集合時刻を厳守すること。なお、実技試験において、定められた集合時刻に遅れた者には受験を許可しない。(万一やむを得ない事情により遅れた場合は、ただちに係員に申し出ること。)
- (5) 試験当日、受験者(伴奏者を含む)は、試験に関する掲示を確認してから指定された「集合場所及び控室」に入り、以後はすべて係員の指示に従うこと。
- (6) 不正行為があった時は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めない。
- (7) 「集合場所及び控室」での発声、または楽器の練習を禁じる。また、「集合場所及び控室」から試験場へ行く途中の廊下等においても同様に禁じる。
- (8) 音出し室、控室にあるピアノの使用を禁じる。ただし、ピアノ研究分野受験者は、係員の指示に従うこと。
- (9) 受験の際は、常に受験票を携帯し、入構の際は、守衛所の係員に提示して入構すること。万一受験票を忘れた場合には、係員に申し出ること。
- (10) 携帯電話及び通信機能を備えた電子機器等の使用を禁止する。もしも持ち込んだ場合は、電源を切ってかばん等に入れておくこと。
- (11) 食事のために学外に出る場合には、正門出入りの際、守衛所の係員に受験票を提示すること。
- (12) 試験に関する電話による問い合わせには、原則応じない。
- (13) 本学に駐車場はない。

目 次

○ 大学院音楽研究科アドミッション・ポリシー	1ページ
I 募集人員	1ページ
II 選抜方法	1ページ
III 出願資格	2ページ
IV 標準修業年限	2ページ
V 出願手続	2ページ
VI 選抜試験場	7ページ
VII 試験科目	7ページ
VIII 試験科目の詳細	9ページ
IX 選抜期日	31ページ
X 最終合格者の発表	31ページ
XI 入学手続等について	31ページ
XII 研究室及び指導教員	32ページ
XIII 個人情報の取扱いについて	34ページ
XIV 入学者選抜試験実施日程表	折込

入学願書等提出書類 ……………添付

検定料振込依頼書 ……………添付

○ 大学院音楽研究科アドミッション・ポリシー

大学院音楽研究科は、高度に専門的かつ広範な視野に立ち、音楽についての深遠な学識と技術を授けること、音楽に関わる各分野における創造、表現、研究又は音楽に関する職業等に必要な優れた能力を養うこと、さらには自立して創作、研究活動を行うに必要な高い能力を備えた教育研究者の養成を目的としている。

この教育理念に基づき、本研究科は、音楽に関する豊富な知見、高度の技術と卓越した研究能力を持ち、なおかつ、幅広い視野や興味・関心、柔軟な感性、独創的な構想力、論理的な思考力、強い意志を持っている人材を求めている。

I 募集人員

専攻	研究分野	募集人員
作曲	作曲	7名
	エクリチュール	
声楽	独唱	20名
	オペラ	
器楽	ピアノ	45名
	オルガン	
	弦楽	
	管打楽	
	室内楽	
指揮	古楽	3名
	指揮	
邦楽	三味線音楽*	9名
	箏曲	
	尺八	
	能楽	
	能楽囃子	
	邦楽囃子	
音楽文化学	日本舞踊	35名
	音楽学	
	音楽教育	
	ソルフェージュ	
	応用音楽学	
	音楽文芸	
合計	音楽音響創造	119名
	芸術環境創造	

〔注意〕

- (1) 志願者は、志願する専攻中の1つの研究分野に限り出願することができる。
(作曲は、作曲・エクリチュールのいずれかを選択する。声楽は、声種1つを選択する。室内楽は、個人・グループのいずれかを選択する。)
- (2)(*) 三味線音楽研究分野には、次の専門種がある。
長唄三味線、常磐津三味線、清元三味線、長唄、常磐津、清元
- (3) 外国人留学生に関しては、次の専攻において、別枠で募集し、募集要項は11月に発行する。
作曲、声楽、器楽（ピアノ・弦楽・管打楽・室内楽・古楽）、指揮、邦楽及び音楽文化学（音楽学・音楽教育・応用音楽学・音楽文芸・音楽音響創造・芸術環境創造）。（平成25年7月現在）

II 選抜方法

入学者の選抜は、「専門（実技）試験・語学・基礎学科目（音楽史）・面接・音楽に関する基礎能力検査の各成績及び、出願時提出資料」に基づき総合して判定する。

III 出願資格

本学大学院音楽研究科（修士課程）に出願できる者は、次の各項の1つに該当する者とする。

1. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する日本の大学を卒業した者（平成26年3月卒業見込の者を含む）
2. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定（大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者（平成26年3月までに学士の学位を取得見込の者を含む）
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（平成26年3月までに修了見込の者を含む）
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（平成26年3月までに修了見込の者を含む）
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（平成26年3月までに修了見込の者を含む）
6. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成26年3月までに修了見込の者を含む）
7. 文部科学大臣の指定した者
8. 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

※上記出願資格8により出願を希望する者は、事前に出願資格審査を受ける必要があるので、至急音楽学部教務係に必要書類を請求し、平成25年7月31日(水)午後4時までに提出すること。

IV 標準修業年限 2年

V 出願手続

1. 願書受付期間

志願する専攻の別により、下記の期間の郵便局の消印があるものを受け付ける。

- ・作曲専攻を除く全専攻：平成25年8月9日（金）から平成25年8月15日（木）まで
- ・作曲専攻のみ：平成26年1月6日（月）から平成26年1月10日（金）まで

(注) 入学願書を直接大学に持参したもの、または郵便局の消印が上記期間外のもの、いかなる理由があっても受け付けない。

なお、平成25年8月10日（土）から平成25年8月18日（日）まで本学の夏季休業のため、出願する際に何か不明な点がある場合は、必ず平成25年8月9日（金）までに音楽学部教務係へ問い合わせること。

2. 検 定 料

① 金額：30,000円

国費外国人留学生は納入不要です。ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を在籍する大学から発行してもらい、必ず提出してください。

② 振込期間：

作曲を除く全専攻：平成25年8月9日（金）～平成25年8月15日（木）

作曲専攻：平成26年1月6日（月）～平成26年1月10日（金）

③ 振込方法及び提出書類

下記の(ア)、(イ)のいずれかの方法により振り込んでください。

(ア) コンビニエンスストアでの振込み

- ・8頁の説明を参照の上、振込手続きを行ってください。
- ・コンビニエンスストアで振り込んだ際に受け取る〈取扱明細書〉の「収納明細書」の部分を取り、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付して提出してください。
- ・振込時に、この要項に添付してある「振込依頼書（A・B・C票）」に記載されている「整理番号」（5桁）の入力が必要になります。
- ・コンビニエンスストア内のATMによる振込は受け付けません。必ず指定の端末にて手続きを行ってください。

(イ) 金融機関窓口でのお振込み

- ・この要項に貼付してある「振込依頼書（A・B・C票）」を使用してください。
- ・取扱金融機関は下記の通りです。
都市銀行・信託銀行・地方銀行・信用金庫・信用組合・農業協同組合・ゆうちょ銀行（郵便局）等（金融公庫では振り込みできません）
- ・振込時には別途手数料が必要です。
（三井住友銀行本・支店から振り込む場合は手数料が無料になります）
- ・金融機関ATM（現金自動預け払い機）による振込は受け付けません。
- ・振込後に返却されるB・C票のうち、C票について切り離し、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付して提出してください。

(ウ) 海外からの検定料送金について

- ・海外在住の受験者が、外国から送金する場合は次の通りに行ってください。

【送金先】

銀行名：SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION (0009)

支店名：TOKYO KOUMUBU BRANCH (096)

科目：普通預金

口座番号：151793

口座名義：TOKYO UNIVERSITY OF THE ARTS

支店住所：1-6-12 TORANOMON MINATO-KU TOKYO JAPAN

大学住所：12-8 UENOPARK TAITO-KU TOKYO JAPAN

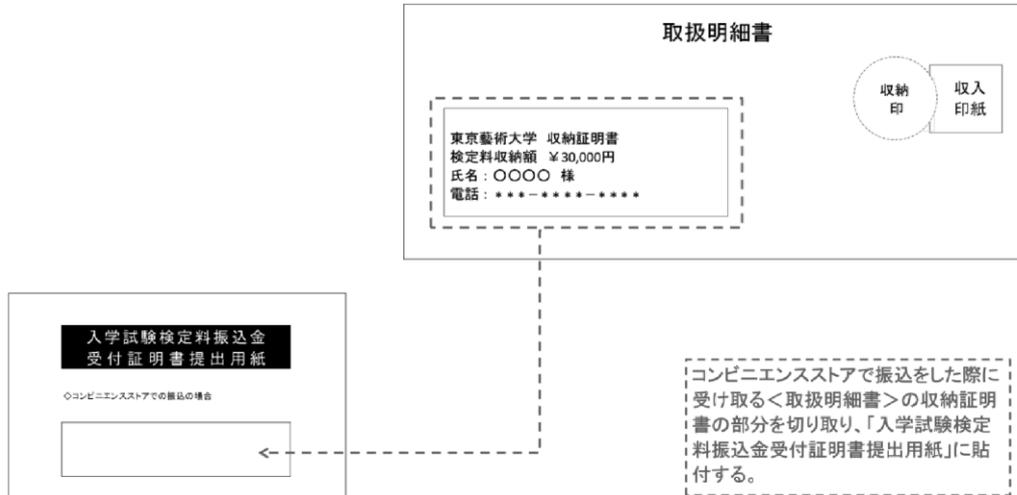
※連絡事項欄（メッセージ欄）に受験する専攻名および研究分野名を記入してください。

※海外から送金する場合は、送金にかかるすべての手数料をご負担いただきます。本学への入金額に過不足が生じないように、ご注意ください。

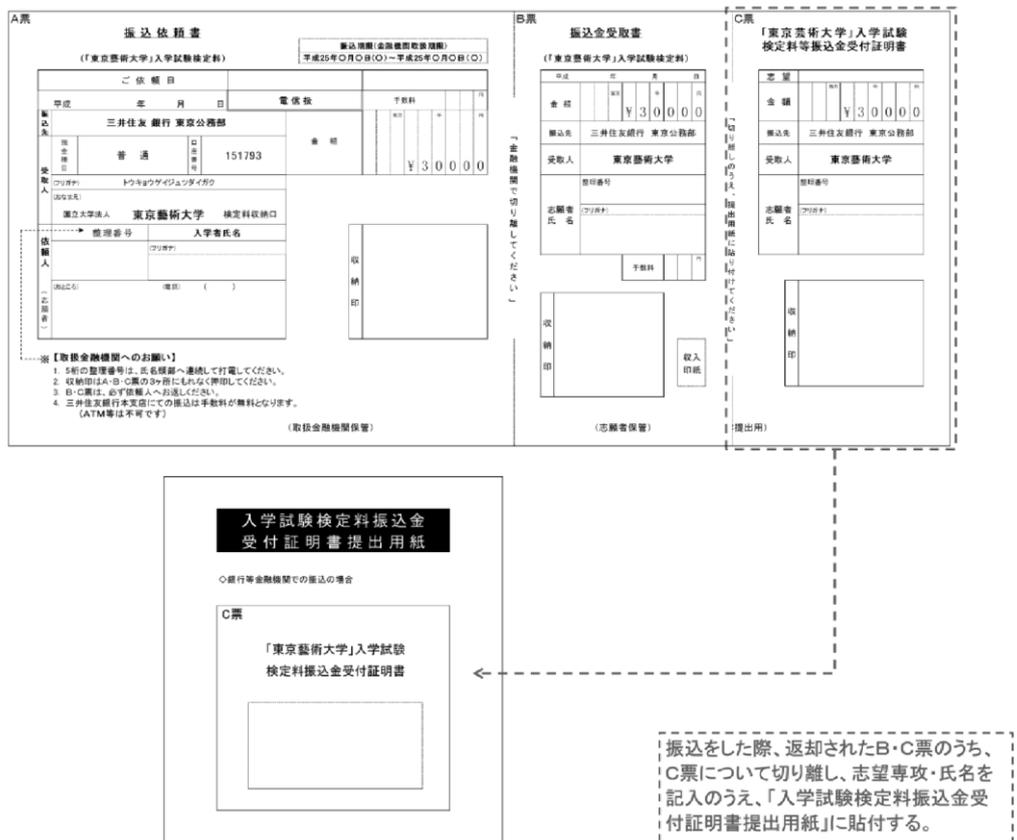
※送金後、銀行から受け取る振込明細を「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付し、他の書類とともに提出してください。

「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」への貼付について

(ア) コンビニエンスストアでの振込の場合



(イ) 金融機関窓口での振込の場合



(ウ) 海外からの送金の場合

送金時に銀行から受け取る振込明細を貼付してください。

④ 返還について

願書を受理した後は、次の(ア)、(イ)の場合を除き、いかなる理由があっても振込済みの検定料は返還しません。

(ア) 検定料を振り込んだが、本学に出願しなかった（願書を提出しなかった、または願書が受理されなかった）場合

(イ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

該当する場合の返還請求の方法は下記の通りです。

便せん等を使用し、下記①～⑦の項目について記入した「検定料返還請求願」を作成し、「収納明細書」又は「C票」を添付して、東京芸術大学会計課経理係（郵便番号110-8714 東京都台東区上野公園12-8）まで郵送してください。

①名、①住所、③電話番号、④受験予定の専攻・研究分野、⑤金額、⑥返還請求の理由、⑦振込先の銀行名・支店名・普通口座または当座口座の別・口座名義（カタカナ）・口座番号
--

※大学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた額になります。

※返還請求願受領後、返還金の振込まで通常約1ヶ月かかります。

※志願者本人が銀行口座を持っておらず、保護者等の口座に返還を希望する場合は、必ずその旨を書いた委任状を返還請求願と一緒に送付してください。

3. 願書提出先

東京芸術大学音楽学部教務係 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

4. 受 験 票

願書の受付手続を完了した者に対して受験票を送付する。

(注) 1. 三味線音楽研究分野の長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元は、三味線音楽として通し番号で受験番号をふる。

2. 受験票が9月6日（金）までに到着しない場合は、音楽学部教務係へ連絡の上、書留郵便受領書をもって申し出ること。

5. 障害のある入学志願者の事前相談

修学上または入学試験の実施上特別な配慮を必要とする入学志願者は、出願前に音楽学部教務係に申し出て、相談のうえ、出願すること。

また、出願締切以後の不慮の事故による負傷者等においても、速やかに音楽学部教務係と相談すること。

6. 提出書類

志願者は、次表①から⑳までの該当する書類を本学所定の封筒を使用し「書留速達」で郵送すること。

書 類	様 式 等	記 入 要 領 等
① 入 学 願 書	本学所定の様式	入学願書に記入する氏名は、必ず戸籍と同一文字でなければならない。その他の提出書類についても同様である。
② 履 歴 書	〃	音楽学習履歴欄の記入において、大学での授業等に含まれる発表会等を省略してもよい。
③ 写 真 票	〃	写真は、明らかに志願者本人であることが認められる脱帽、上半身、正面向きで出願前3か月以内に撮影したものを写真票の所定の欄に貼ること。(スナップ写真不可)
④ 受 験 票 〔裏面：返信用郵便はがき〕	〃	受験票裏面は、「返信用郵便はがき」である。受験者自身が、自己の住所・氏名・郵便番号を明記し、50円切手(速達の場合は320円切手)を貼ること。なお、遠隔地の場合は、速達扱いにしておくことが望ましい。
⑤ 入学試験検定料 振込金受付証明書 提出用紙<修士用>	〃	検定料30,000円をコンビニエンスストア又は銀行振込により納入したのち、振込先から受領する「収納証明書」又は「入学試験検定料振込金受付証明書(C票)」を本紙に貼付すること。
⑥ 入 学 手 続 書 類 送 付 用 宛 名 ラベルシール	〃	最終合格者への書類送付時に使用するラベル。必ず志願者本人に書類が届く宛先(日本国内に限る。海外在住者は、日本国内の代理人を指定すること。)を記入すること。
⑦～⑰ 受 提 験 曲 目 紙	〃	提出者は以下の通り。 ⑦～⑮…声楽専攻、ピアノ・オルガン・管打楽・指揮・古楽・室内楽・尺八・能楽囃子・ソルフェージュ各研究分野志願者。 ⑯…音楽教育及びソルフェージュ研究分野志願者のうち『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」を「ピアノ」で受験する者。 ⑰…音楽学及び音楽教育研究分野志願者のうち『音楽に関する基礎能力検査「ピアノ」』を受験する者。
⑱ 邦 楽 専 攻 音楽に関する基礎 能力検査科目 提出用紙	〃	提出は、邦楽囃子、日本舞踊、尺八、能楽、能楽囃子各研究分野志願者のうち他大学出身者。(邦楽囃子研究分野志願者は楽器種も記入すること。)
⑲ 研 究 計 画 書 (1) 〔応用音楽学 音楽音響創造 芸術環境創造 志願者用〕	〃	提出は、応用音楽学、音楽音響創造、芸術環境創造各研究分野志願者。入学した後の研究計画を1200～1600字で具体的に書くこと。
⑳ 志 望 理 由 書 (1) 〔応用音楽学 志願者用〕	〃	提出は、応用音楽学研究分野志願者のみ。主な研究対象とするテーマを選んだ理由、その分野に関する自分の具体的な問題意識、これまでに身につけた知識や経験について1200～1600字で書くこと。
㉑ 研 究 計 画 書 (2) 〔音楽文芸 志願者用〕	〃	提出は、音楽文芸研究分野志願者のみ。1.志望理由、2.研究計画を各々800字以内で書くこと。
㉒ 志 望 理 由 書 (2)	〃	提出は、オルガン・ソルフェージュ各研究分野志願者、邦楽専攻志願者(400字以内)。
㉓ 成 績 証 明 書	様式随意	出身大学長または学部長が証明したもの。(本学卒業生、卒業見込者は不要。) 厳封すること。
㉔ 卒 業 (又 は 卒 業 見 込) 証 明 書	〃	出身大学長または学部長が証明したもの。(本学卒業生、卒業見込者は不要。)
㉕ 受 験 許 可 書	〃	現に教職その他の公職にある者及び会社等に在職中で、服務義務のある者は、所属長の受験許可書を添付すること。
㉖ 国 費 外 国 人 留 学 生 在 籍 証 明 書	〃	国費外国人留学生は、在籍大学に対し、その身分を証明する書面の発行を依頼し、本学に提出すること。
㉗ 演 奏 作 品 楽 譜	〃	提出は、古楽研究分野志願者のみ。詳細は18ページを参照すること。

- (注) 1. ①～④までの書類は、一連綴りのまま提出すること。
 2. 願書等受理後は、いかなる事情があっても書類の変更・検定料の払い戻しはしない。
 3. 室内楽研究分野をグループで受験する場合も、必ず個々に出願すること。
 4. 婚姻等により証明書と現在の姓が異なる場合は、戸籍抄本を添付すること。
 5. 証明書が日本語以外で記載されている場合は、日本語訳を添付すること。
 6. 音楽音響創造・芸術環境創造各研究分野志願者は、上記出願書類とは別便で「作品あるいは論考」を提出すること。詳細は、25～26ページを参照すること。

VI 選抜試験場

東京芸術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

○ J R 線一上野駅公園口、鶯谷駅下車、徒歩約10分

○ 東京メトロ千代田線根津駅下車、徒歩約15分

VII 試験科目

(「VIII 試験科目の詳細」参照のこと)

専攻	研究分野	試験科目				
		専門試験	語学	基礎学科目 (音楽史)	面接 (注2)	音楽に関する 基礎能力検査 (他大学出身者のみ)
○は要受験・△は一部 要受験・×は受験不要						
作曲	作曲	作品審査及び口述試問	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
	エクリチュール	作品審査, 実技, 口述試問				
声乐	独唱	1. 声乐実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
	オペラ	2. 新曲視唱(指定された受験者のみ)				
器楽	ピアノ	専攻楽器の実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
	オルガン	専攻楽器の実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	△	×
	弦楽	専攻楽器の実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
	管打楽	専攻楽器の実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	△	×
	室内楽	1. 室内楽の実技 2. 専攻楽器の実技(個人受験者のみ)	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
	古楽	1. 専攻楽器の実技 2. アンサンブルまたは通奏低音	英・独・仏・伊語から1科目	○	○	×
指揮	指揮	1. 指揮実技 2. 指揮適性検査 3. ピアノ実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	△	×
邦楽	全研究分野	1. 専攻楽器等の実技 2. 口述試問	国語古文	○	△	○
音楽文化学	音楽学	1. 専攻論文 2. 音楽学 3. 口述試問	英・独・仏・伊・露・西語から2科目(ただし日本・東洋音楽史ならびに音楽民族学受験者は1科目のみ)	○ (注3)	×	△
	音楽教育	1. 小論文 2. 口述試問 3. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」(注1) (作曲, 声乐, 器楽, 指揮, 邦楽の各専攻で課されている「楽器等の実技」または, 音楽文化学専攻音楽学研究分野において課されている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。)	左記3.において「楽器等の実技試験」(邦楽以外)を選択した者は, 英・独・仏・伊語から1科目を, また邦楽を選択した者は国語古文を受験する。「音楽学の筆記試験」を選択した者は, 音楽学研究分野において課されている語学試験を受験する。	○ (注3)	×	○
	ソルフェージュ	1. ソルフェージュ試験 2. 記述試験 3. 口述試問 4. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」(注1) (作曲, 声乐, 器楽, 指揮, 邦楽の各専攻で課されている「楽器等の実技」または, 音楽文化学専攻音楽学研究分野において課されている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。)	左記4.において「楽器等の実技試験」(邦楽以外)を選択した者は, 英・独・仏・伊語から1科目を, また邦楽を選択した者は国語古文を受験する。「音楽学の筆記試験」を選択した者は, 音楽学研究分野において課されている語学試験を受験する。	○ (注3)	×	△
	応用音楽学	1. 小論文 2. 口述試問	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から1科目	○ (注3)	×	×
	音楽文芸	1. 専攻論文 2. 小論文 3. 口述試問	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から2科目	○ (注3)	×	×
	音楽音響創造	1. 聴覚試験 2. 記述試験 3. 口述試問	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から1科目	○ (注3)	×	×
芸術環境創造	1. 記述試験 2. 口述試問	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から1科目	○ (注3)	×	×	

(注1) 音楽教育及びソルフェージュ研究分野受験者の「「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」を, 室内楽研究分野で課されている楽器実技で受験することはできない。また, 声楽専攻で受験する者は, 声楽専攻実技試験第1回のみを受験すること。(なお, 9月16日にこれら受験者の合否発表はない。)

(注2) 【面接について】「○」は受験者全員に課する。「△」は「他大学出身者」及び、「本学出身者のうち, 学部の専攻と受験する修士課程の専攻が異なる者」にのみ課する。「×」は課さない。

(注3) 作曲専攻及び音楽文化学専攻志願者に課する基礎学科目(音楽史)の出題形態は, 他の研究分野志願者と異なるので, 詳しくは27ページを参照すること。

※過去2年分の入試問題は, 音楽学部教務係で閲覧できる。(音楽学研究分野については, 楽理科研究室でも閲覧できる。)

※課せられた科目を1つでも受験しなかった者は, 失格(不合格)となる。

東京芸術大学 コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内

⚠ お申込みの前に お申込みの際に、振込依頼書に印字されている整理番号(5桁)の入力が必要です。

整理番号メモ (5桁)					
----------------	--	--	--	--	--

下記のコンビニエンスストアの端末にて払い込みができます。

㊦ セブン-イレブン マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。

学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON Loppi **MINI STOP Loppi**

<http://www.lawson.co.jp> <http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。

「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学等入学検定料のお支払い

あなたと、コンビニに、FamilyMart Famiポート

<http://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。

TOP画面の「申込・請求(学び・教育)」よりお申込みください。

申込・請求
↓
学び・教育
↓
大学・短大・大学院
入学検定料払い込みサービス

㊤ ㊦ カルワザステーション

<http://www.circleksunkus.jp>

最寄りの「サークルK・サンクス」にある「カルワザステーション」へ。

TOP画面の「学び・申込」よりお申込みください。

「学び・申込」
↓
大学等入学検定料のお支払い

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「払込票 / 申込券 / 受付票」を発売ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

コンビニのレジでお支払いください。

※端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi, Famiポート)または「受付票」(カルワザステーション)が出力されますので、30分以内にレジにてお支払いください。

※お支払い後は「取扱明細書」(マルチコピー機、カルワザステーション)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi, Famiポート)を受け取ってください。

※お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できませんのでご注意ください。

※お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなりますのでご注意ください。

※すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料	入学検定料が3万円未満	420円
	入学検定料が3万円以上	630円

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、学生募集要項の指示に従って、所定の欄に貼りつけてください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある欄は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

切り取った「収納証明書」を「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」の所定欄に貼る。

封筒に必要書類を入れて、郵便局から郵送にて出願。

【入試に関するお問合わせ先】 東京芸術大学
美術学部教務係 TEL 050-5525-2122 / 音楽学部教務係 TEL 050-5525-2309 / 映像研究科教務係 TEL 050-5525-2671
(受付時間) 月曜～金曜 9:00～12:30 13:30～16:30 ※土曜・日曜・祝日を除く

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <http://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

VIII 試験科目の詳細

1. 専攻実技

専攻	研究分野	課 題 曲 等
作 曲	◎ 作曲専攻共通注意事項（作曲，エクリチュール） 下記に定める作品等を平成26年1月31日（金）正午までに直接又は郵送により音楽学部教務係に提出のこと。ただし，音楽教育又はソルフェージュの志願者で，作曲（エクリチュールは選択不可）により受験する者の提出期限は，平成25年8月19日（月）午後4時までとする。（郵送による場合も上記期限までに教務係に届くように発送のこと）	
	作 曲	[入試課題曲（提出作品）] 管弦楽作品（室内管弦楽を除く）およびそれ以外のジャンル（演奏者1～10名まで，声楽を含むも可）の作品各1曲の楽譜を提出する。
	エクリチュール	1. [入試課題曲（提出作品）] 管弦楽作品（室内管弦楽を除く）1曲の楽譜を提出する。 2. 与えられた主題で4声フーガを作曲する。（6時間） 3. ピアノによる数字付きバス，および旋律の和声付け試験（予見10分） 4. 総譜初見視奏

●作曲専攻の試験日程について

本研究科（修士課程）入学試験において，作曲専攻の試験については，全ての試験を2月に行います。

※作曲専攻願書提出期限は平成26年1月6日（月）から平成26年1月10日（金）まで。

専攻	声 種	課 題 曲 等
声 楽	ソ プ ラ ノ (S)	<p>声楽専攻志願者の入学試験は、現在独唱・オペラの区別なく行っている。合格者のうち、オペラ（声楽第5講座）に所属することを希望する者に対して、オペラ適性検査を実施する。オペラ適性検査の実施日時に関しては、最終合格発表以降、対象者に別途通知する。</p> <p>提出曲 提出用紙の書式に従って原語で記入すること。 第1次試験：下記のA, B, Cより分野を1つ選択し、その中から任意の1曲を提出する。 第2次試験：第1次試験と同一分野から1曲（曲目は重複しないこと）、残る2つの分野から2曲ずつを提出する。 A：モーツァルト以降の作曲家（モーツァルトを含む）によるオペラ作品の独唱曲。（コンサート・アリアを含む） B：オラトリオ、ミサ曲、カンタータ等の宗教的独唱曲。 バロック・オペラ、世俗カンタータ、マドリガーレ等の世俗的独唱曲。 C：歌曲</p> <p>※オペラ、オラトリオ等のアリアは原調・原語。歌曲分野についても原語とするが、移調は自由。（慣習的に認められている移調・言語はこの限りではない）</p>
	メゾソプラノ (Ms)	
	ア ル ト (A)	
	テ ノ ー ル (T)	
	バ リ ト ン (Br)	<p>歌唱実技試験 第1次試験：第1次試験の演奏曲として提出した1曲（4分以内）を暗譜で演奏する。 第2次試験：第2次試験の演奏曲として提出した1曲と当日本学が記号（イ、ロ、ハ、ニ）で指定する2曲の計3曲を9分以内（曲間を含む）にまとめて暗譜で演奏する。（各曲、適宜カットしてよい）演奏曲順は自由。</p> <p>※第1次試験及び第2次試験ともに、演奏はピアノ伴奏とする。（志願者が伴奏者を同伴すること。）</p>
	バ ス (B)	
		<p>新曲視唱（音大及び音楽関係学部・学科等の出身者を除く） ※上記出身者に該当するかどうか判断できない受験生は、事前に本学音楽学部教務係に問い合わせること。</p>

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器	ピアノ (Pf)	<p>下記の a) 及び b) の区分より、ピアノ独奏用作品を組み合わせた30分以上のプログラムを2種類提出すること。それぞれのプログラムは必ず a) b) 両方の作品を含むこと。 当日各自の抽選によりいずれか一方のプログラムを演奏する。</p> <p>a) バロックから古典派までの作品 b) ロマン派以降の作品（出版されているものに限る。ただし、内部奏法等を含んだ作品は除く。）</p> <p>(注) 1) 演奏は暗譜とする。 2) 繰り返しは自由とする。 3) a) b) 共、複数曲でも可。 4) ソナタ・変奏曲の抜粋は認めない。 5) 時間の都合により一部を省略させることがある。</p>
	オルガン (Org)	<p>(A) 課題曲</p> <p>(1) 北ドイツ楽派の大規模な Toccata または Praeludium の中から任意の一曲 (2) J.S.Bach : Trio Sonata BWV526(c), 527(d), 529(C), 530(G) の中から任意の一曲 (全楽章) (3) 17～18世紀のフランスの作曲家による Tierce en taille または Cromorne en taille (4) M. Reger : Introduction und Passacaglia in f Op.63-5, 6 (5) L.Vierne : Pièces de fantaisie op.54より No.2 Impromptu (6) O.Messiaen : Messe de la Pentecôte より IV.Communion (Les oiseaux et les sources) および V. Sortie (Le vent de l'Esprit)</p> <p>(注) 時間の都合により一部省略させることがある。</p> <p>○レジスターのためのアシスタントが必要な者は、所定の用紙に記入し、申し出ること。アシスタントは本学が用意する。 ○試験日以前にレジスタータイムを2回与える。</p> <p>(B) 即興実技 数字付低音による課題を初見で実施する。 なお、当日5分間の試奏時間を与える。ただし書き込みはできない。 (次ページに続く)</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器	弦	<p>◎ 弦楽器共通注意事項 (ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・ハープ)</p> <p>○演奏はすべて暗譜とし、繰り返しは省略する。</p> <p>○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。</p> <p>○当日、時間の都合により一部省略させることがある。</p>
		<p>ヴァイオリン (Vn)</p> <p>1. 次の中から任意の1曲(全曲) J.S.Bach : Partita for Violin solo No.1 B minor BWV1002 No.2 D minor BWV1004 No.3 E major BWV1006</p> <p>2. 次の中から任意の1曲の第1楽章 (1) L.v.Beethoven : Concerto D major Op.61 (カデンツァは自由) (2) J.Brahms : Concerto D major Op.77 (カデンツァは自由) (3) F.Mendelssohn : Concerto E minor Op.64</p>
		<p>ヴィオラ (Va)</p> <p>1. J.S.Bach : Solo Suite No.5 C minor BWV1011 (全曲) 2. 次の中から任意の1曲 (1) B.Bartók : Concerto (第1楽章) (最後のカデンツァを含む) (シェルイ版, 改訂版どちらでも可) (2) W.Walton : Concerto (第1楽章, 第2楽章)</p>
		<p>チェロ (Vc)</p> <p>1. J.S.Bach : Solo Suites の中から第4, 5, 6より1曲 (Prélude, Allemande, Courante を演奏すること) 2. 次の中から任意の1曲 (1) J.Haydn : Concerto D major Op.101 (全楽章, カデンツァを含む) (2) A.Dvořák : Concerto B minor (全楽章) (3) R.Schumann : Concerto A minor (全楽章) (4) E.Elgar : Concerto E minor Op.85 (全楽章) (5) D.Shostakovich : Concerto No.1 Op.107 (全楽章)</p>
	楽	<p>コントラバス (Cb)</p> <p>1. Hans Fryba : A Suite in the Olden Style より Prélude Allemande Gigue 2. 次の中から任意の1曲(全楽章) (1) K.D.Dittersdorf : Concerto E major (2) J.B.Vanhal : Concerto D major (3) D.Dragonetti : Concerto A major (4) G.Bottesini : Concerto No.2 B minor (5) S.Koussevitzky : Concerto F sharp minor</p>
		<p>ハープ (Hp)</p> <p>1. 次の中から任意の1曲 (1) C.P.E.Bach : Sonata F major 又は G major (全楽章, 何版にても可) (2) G.F.Händel : Concerto (全楽章) 2. 次の中から任意の1曲 (1) Fauré : Impromptu (2) Tailleferre : Sonata (全楽章)</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等	
器 管 打 楽	<p>◎ 管打楽器共通注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 志願者でピアノ伴奏を必要とする場合には、試験当日伴奏者を同伴すること。 ○ 受験生同士の譜めくりは禁止する。 ○ 出版社の指定のないものは、何版でもよい。 		
	木 管	フルート (Fl)	1. 課題曲 下記より任意の1曲を選択し、演奏すること。 W.A.Mozart : Konzert G-Dur K.313または D-Dur K.314より第1及び第2楽章 (カデンツァなし) 2. 自由曲 任意の無伴奏現代曲を1曲演奏すること。ただし、時間の都合により試験官の指示で中断されることがある。
		オーボエ (Ob)	1. 課題曲 a), b) より任意の1曲を選択し、演奏すること。 a) W.A.Mozart : Konzert C-dur K.314より第1, 2楽章 b) B.Martinů : Concerto より第2, 3楽章 (Eschig) 2. 自由選択曲 a) ~ e) より任意の1曲を選択し、演奏すること。 a) E.Carter : Inner Song (Boosey & Hawkes) b) A.Dorati : Cinq pièces pour le hautbois より 第1曲と第5曲 (Boosey & Hawkes) c) H.Holliger : Sonate für Oboe solo より I Präludium と II Capriccio (Schott) d) G.Silverstrini : Six études pour le hautbois より 第1曲と第6曲 (Edition du Hautbois) e) I.Yun : Piri oboe solo (Bote & Bock)
		クラリネット (Cl)	1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert A-Dur K.622より第1, 2楽章 2. 自由曲 (任意による1曲)
		ファゴット (Fg)	1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert B-Dur K.191 (186e) (カデンツァなし) 2. 自由曲 (任意による1曲)
		サクソフォーン (Sx)	1. 課題曲 J.Ibert : Concertino da Camera 2. 自由曲 (任意による1曲)
	金 管	ホルン (Hr)	1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert Nr.2 Es-Dur K.417 2. 自由選択曲 a) ~ c) より任意の1曲を選択し、演奏すること。 a) R.Strauss : Konzert Nr.1 Es-Dur Op.11 b) Hermann Neuling : Bagatelle für tiefes Horn und Klavier c) R.Schumann : Adagio und Allegro Op.70
		トランペット (Tp)	1. 課題曲 H.Tomasi : Concerto 第1楽章 (カデンツァを含む) 2. 自由選択曲 a) ~ c) より任意の1曲を選択し、演奏すること。 a) J.W.Hertel : Concerto No.3 in D 第1, 2楽章 b) G.Ph.Telemann : Concerto in D 第1曲 (Adagio) と第4曲 (Allegro) c) L.Mozart : Concerto in D 全楽章
		トロンボーン (Tb)	テナートロンボーン 1. 課題曲 F.Martin : Ballade (Universal Edition) G.Ch.Wagenseil : Concerto * (Universal Edition) *アルトトロンボーンで演奏すること。カデンツァは自作創作も含め自由。 2. 自由曲なし
			バストロンボーン 1. 課題曲 T.Albinoni : Sonate en Ré majeur adaptée pour Trombone basse et piano (Gérard Billaudot) 2. 自由曲 (任意による1曲)
		ユーフォニアム (Euph)	1. 課題曲 J.Horovitz : Euphonium Concerto (Novello) 2. 自由曲 (任意による1曲)
	チューバ (Tu)	1. 課題曲 K.Penderecki : Capriccio R.Vaughan Williams : Concerto for Bass Tuba and Orchestra (Oxford University Press) 2. 自由曲なし	
	打楽器 (Pc)	1. 課題曲 F.Dupin : Myriades (Alphonse Leduc) 2. 自由曲 (任意による1曲)	

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器 楽 楽		
	バロック チェロ (BVc)	<p>1. 次の1)～3)を演奏する。</p> <p>1) 当日指定する調で3オクターヴのスケールを演奏する。 テンポは自由, 1弓6音または8音, 短調は和声的短音階とする。 最低音のC以外開放弦を用いない指遣いで弾くこと。</p> <p>2) F.Geminiani: Sonata op.5-6 in A minor</p> <p>3) J.S. Bach: Suite a violoncello solo senza basso no. 4 Prelude, Courante, Gigue</p> <p>[演奏する曲順, 基準とするピッチ, 楽器(モダン仕様かバロック仕様か), 弓のスタイルは問わないが, ガット弦を使用すること。2)に関してはチェンバロの伴奏を用意すること。2)の版はPeters版またはS.P.E.S(1746年デン・ハーグの版), 3)の版はBärenreiter(2000年出版), Breitkopf(2000年), 東京書籍(2009年)のいずれかを使用すること。]</p> <p>2. 当日与える通奏低音の課題をチェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
	古 リコーダー (Rec)	<p>1. 次の各作品を演奏する。</p> <p>1) Aurelio Virgiliano: “IL DOLCIMELO”より 任意のリチュエルカータ1曲 [ルネサンスまたは初期バロックタイプのリコーダーを使用。 管の種類及びピッチ, 移調は自由。]</p> <p>2) Jacques Martin Hotteterre: Suite 2 (Oeuvre Second 1715) 全楽章 [ヴォイス・フルート使用の場合は原調, トレブル・リコーダー使用の場合は変ロ長調に移調して演奏すること。ピッチはa'=415]</p> <p>3) J.S.Bach: Partita イ短調 BWV1013より Allemande, Corrente [ヴォイス・フルート使用の場合は原調, トレブル使用の場合はハ短調に移調して演奏, ピッチは指定しない]</p> <p>4) Antonio Vivaldi: 協奏曲ハ長調 RV443全楽章 [バロックタイプのソプラニーノを使用。ピッチはa'=415]</p> <p>2. 当日与える通奏低音の課題をチェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
	楽 チェンバロ (Cemb)	<p>1. 次の1)～4)の各作品を演奏する。</p> <p>1) G.Frescobaldi と W.Byrd の作品を組み合わせて(必ず両方の作曲家の作品を含むこと)10～12分のプログラムを組む。</p> <p>2) J.S.Bach: Präludium und Fuge a-moll BWV 894</p> <p>3) J.-H. d'Anglebert: Premiere Suite Sol majeur から以下の5曲を演奏する。 Prélude, Allemande, 2e. Courante, Sarabande, Gigue</p> <p>4) C.B.Balbastre: La Suzanne</p> <p>2. 当日与える通奏低音と旋律楽器(または声楽)のためのアンサンブル作品を演奏する。(予見打ち合わせ時間5分)</p>
バロック オルガン (BOrg)	<p>1. 次の1)～5)の各作品を演奏する。</p> <p>1) G.Frescobaldi: Capriccio sopra La Bassa Fiamenga (※ Mitteltönigwerk を使用すること)</p> <p>2) J.P.Sweelinck: Hexachord Fantasia (Ut re mi fa sol la)</p> <p>3) N.de.Grigny: Pange Lingua (全3楽章)</p> <p>4) D.Buxtehude: Praeludium in fis BuxWV 146</p> <p>5) J.S.Bachの6つのトリオソナタ BWV 525-530から任意の1曲を選び, その全楽章を演奏する。</p> <p>2. 当日与える通奏低音と旋律楽器(または声楽)のためのアンサンブル作品をポジティブオルガンにて演奏する。(予見打ち合わせ時間5分)</p>	

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器 楽	古 フォルテ ピアノ (FP) 楽	<p>1. 次の各作品（計3曲）を演奏する。</p> <p>1) W.A.Mozart : Rondo a-moll K.511（繰り返しは省略）</p> <p>2) 次のどちらか任意の1曲</p> <p>イ) J.Haydn : Klaviersonate e-moll Hob.XVI : 34 （1楽章および2楽章の繰り返しは省略。3楽章の繰り返しは任意）</p> <p>ロ) J.Haydn : Klaviersonate Es-dur Hob.XVI : 52 （全楽章とも繰り返しは省略。）</p> <p>3) 次のどちらか任意の1曲</p> <p>イ) L.Koželuch : Klaviersonate g-moll Op.15-1 （1楽章の繰り返しは省略）</p> <p>ロ) M.Clementi : Klaviersonate f-moll Op.13-6 （1楽章および3楽章の繰り返しは省略）</p> <p>2. チェンバロにて次の作品を演奏する。 J.J.Froberger : Partita (Suite) I FbWV 601より Allemand [前半の繰り返しはあり、後半は繰り返しなしで演奏すること。]</p> <p>3. 当日与える通奏低音の課題をチェンバロまたはフォルテピアノで実施する。（予見時間5分）</p>

【予告】

平成27年度入試より、バロックチェロ専攻の入試課題曲の中に、以下のアンサンブル課題が加わります。

《バロックチェロ アンサンブル課題》

課題曲発表時に指定した作品（例えば、Corelli : Op.5より Sonata No.4 第1楽章 Adagio 及び第2楽章 Allegro）の通奏低音パートを、本校の用意したソロ奏者（例えばバロックヴァイオリン奏者）と、受験生の用意したチェンバロ奏者とともに演奏する。当日10分程度のリハーサル時間が与えられる。なお、演奏ピッチ（a'=415または442）については受験生が選択したソロ作品のピッチに順ずるものとする。

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
指 揮		<p>1. 指揮実技（合奏による）</p> <p>(1) 総譜初見指揮</p> <p>(2) 課題曲…以下の課題の指揮をする。 Jean Sibelius : Ton-poem 'Finlandia' op.26 全曲の中から部分を指定して指揮をさせる。</p> <p>2. 指揮適性検査</p> <p>(1) スコアリーディング</p> <p>(2) 聴音</p> <p>(3) ピアノ以外の器楽実技（自由曲・伴奏なし）</p> <p>(4) 音楽一般に関する試問</p> <p>3. ピアノ</p> <p>課題曲…全曲の中から部分を指定して演奏させる。 Ludwig van Beethoven : Sonate für Klavier Nr.17 op.31-2 ("Tempest")</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
邦	邦楽共通注意事項 ○受験者に対し、試験の際、邦楽全般又はその専門に関する簡単な口述試問を行う。 ○受験者は、志願する部門に応じて下記の課題曲を暗譜で演奏すること。ただし、長唄受験者は、歌詞のみ唄本を用いてもよい。	
	三味線音楽	長唄三味線 「時雨西行」(二世杵屋勝三郎作曲)
		常磐津三味線 「関の扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)
		清元三味線 「四季三葉草」(二世清元斎兵衛作曲)
		長 唄 「時雨西行」(二世杵屋勝三郎作曲)
		常 磐 津 「関の扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)
		清 元 「四季三葉草」(二世清元斎兵衛作曲)
	(注) 長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線の受験者は、各自使用する楽器を持参する。	
	箏	山 田 流 箏・箏歌 「住 吉」(山田検校 作曲) 三絃・歌 「住 吉」(山田検校 作曲) (注) 箏・三絃は原則として各自持参の楽器を使用する。ただし、本学で用意した箏(テトロン糸)・三絃の使用も可能。なお、出願の際、願書の所定欄に持参・借用の別を記入すること。
		生 田 流 箏 「今小町」(菊岡検校 作曲・八重崎検校 箏手付) 「吼 嘯」(岸野治郎三 作曲・宮城道雄 箏手付) 三絃 「青 柳」(石川勾当 作曲) (注) 箏は本学で用意した楽器(テトロン糸)を使用する。三絃は原則として各自持参の楽器を使用するが、本学で用意した楽器を使用することもできる。なお、出願の際、願書の所定欄に三絃の持参・借用の別を記入すること。
尺 八	琴古流による受験者……1. 「真虚霊」 (初世黒沢琴古編曲) 2. 「虚空鈴慕」 (同上) 3. 「鹿の遠音」 (同上) 都山流による受験者……1. 「岩清水」 (流祖中尾都山作曲) 2. 「峰の月」 (同上) 3. 「懐月調」 (同上) ○上記各3曲の中から2曲を選び、演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による受験者は三浦琴童譜、都山流による受験者は都山流尺八楽会公刊譜によること。 共通曲……………1. 「須磨の嵐」 (山登萬和作曲) 2. 「御山獅子」 (菊岡検校作曲) ○上記2曲の中から1曲を選び、合奏にて演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による受験者は竹友社発行譜、都山流による受験者は都山流尺八楽会公刊譜を使用すること。 ○共通曲の伴奏者(箏・三絃)については本学にて用意する。 ※出願の際は、所定の用紙(受験曲目提出用紙)に必要事項を記入の上提出すること。	

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	音楽学	<p>1. 専攻論文 試験時間：2時間 各自の専攻テーマについて論じる。</p> <p>2. 音楽学 試験時間：2時間 音楽美学、音楽理論、西洋音楽史、日本・東洋音楽史、音楽民族学の5部門から2部門を選んで受験する。</p> <p>3. 口述試問</p>
	音楽教育	<p>1. 小論文 試験時間：2時間</p> <p>2. 口述試問</p> <p>3. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」 作曲、声楽、器楽、指揮、邦楽の各専攻で課されている「楽器等の実技試験」または、音楽文化学専攻音楽学研究分野において課されている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。ただし、器楽専攻室内楽研究分野で課されている楽器実技は本試験において選択できない。 なお、声楽により受験する者は、声楽専攻実技試験第1回のみ受験すること。また、ピアノにより受験する者は次の課題曲を演奏すること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●ピアノ受験者の課題曲</p> <p>1) Haydn, Mozart, Beethoven のピアノソナタより任意の曲1曲（全楽章）及び</p> <p>2) Chopin の練習曲 Op.10及び Op.25より任意の曲3曲 （注）1）繰り返しは省く。 2）演奏は暗譜とする。 3）演奏の一部分を省略することがある。 4）本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。</p> </div>
	ソルフェージュ	<p>1. ソルフェージュ試験</p> <p>(1) ソルフェージュ実技試験</p> <p>a. ピアノによる聴音書取（単旋律、複旋律、四声体和声）</p> <p>b. 各種音部記号（ト音記号、ヘ音記号、ハ音記号）による初見唱</p> <p>c. 初見奏 『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」』において選択した楽器による初見奏とする。ただし、声楽専攻受験者は「ト音譜表による初見唱」とし、作曲、指揮、邦楽の各専攻及び音楽学研究分野受験者は「ピアノによる初見奏」とする。</p> <p>d. 和声課題（「楽器等の実技試験」の作曲受験者は免除） バスおよびソプラノ課題による四声体和声。</p> <p>(2) ピアノ実技試験（「楽器等の実技試験」のピアノ受験者は免除） 課題曲：10分前後のピアノ作品を任意に選択し、暗譜で演奏する。一部を指定して演奏させることもある。</p> <p>2. 記述試験 ソルフェージュ専攻分野に関わるテーマを課した小論文 文字数：800字 試験時間：1時間30分</p> <p>3. 口述試問</p> <p>4. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」 作曲、声楽、器楽、指揮、邦楽の各専攻で課されている「楽器等の実技試験」または、音楽文化学専攻音楽学研究分野において課されている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。ただし、器楽専攻室内楽研究分野で課されている楽器実技は本試験において選択できない。 なお、声楽により受験する者は、声楽専攻実技試験第1回のみ受験すること。また、ピアノにより受験する者は次の課題曲を演奏すること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●ピアノ受験者の課題曲</p> <p>1) Haydn, Mozart, Beethoven のピアノソナタより任意の曲1曲（全楽章）及び</p> <p>2) Chopin の練習曲 Op.10及び Op.25より任意の曲3曲 （注）1）繰り返しは省く。 2）演奏は暗譜とする。 3）演奏の一部分を省略することがある。 4）本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。</p> </div>

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	応用音楽学	<p>1. 小論文</p> <p>2. 1次口述試問 1次試問では主に研究計画に即した試問を行う。研究テーマによっては楽器の演奏による自己アピールやパネルを用いたプレゼンテーションなどを認める。各自の判断で楽器やパネルを用意すること。ただし、準備・実演に長時間を要するものは認められない（準備も含めて5分程度である）。 試験場にはピアノが置かれている。アンプ等を必要とする電子楽器・電気楽器は原則として認められない。 一般的なオーディオ機器（CD、カセット、ビデオ）は用意されている。また、ポータブルコンピューターを持参してのプレゼンテーションは可能だが、機器についてのサポートは一切あたえられないので、すべて自己責任にて用意すること。 かならずしも実演を行わなければならないということではない。</p> <p>3. 2次口述試問</p> <p>※願書提出の際「研究計画書」・「志望理由書」を提出しなければならない。</p>
	音楽文芸	<p>1. 専攻論文 試験時間：2時間</p> <p>2. 小論文 試験時間：2時間</p> <p>3. 口述試問 口述試問では、願書と一緒に提出された研究計画書を参考資料として、主に研究計画についての試問を行う。したがって研究計画書には、(1)音楽文芸を志望した理由、これまでの研究・活動歴、現段階で興味を持っているテーマについて、(2)修士課程在籍中の2年間における研究計画、修士論文について現時点で想定し得るテーマ・素材を、各々800字以内で具体的に書いておくこと。</p>

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	音楽音響創造	<p>1. 聴試試験</p> <p>(1) 音楽を聴いて、編成や楽譜との相違などを解答する。</p> <p>(2) 2種類の音を聴いて、音の大きさや音色の違いなど音響的な特徴について解答する。</p> <p>(3) 音楽を聴いて感じたことを、設問にそって自由に記述する。</p> <p>2. 記述試験</p> <p>(1) 音楽に関する記述問題（楽典、楽器、人物などについての設問）</p> <p>(2) 音響に関する記述問題（用語、音響学の基本事項についての設問）</p> <p>※試験時間は、「聴試試験」、「記述試験」合わせて3時間とする。</p> <p>3. 口述試問</p> <p>主に、提出された「研究計画書」、「作品または論考」に即した試問を行う。質疑応答を含め1人20分程度で実施する。</p> <p>※ 受験者全員願書提出時に(A)「研究計画書」及び(B)「作品あるいは論考」を提出すること。なお、「研究計画書」は、願書と同封の上提出すること。また「作品あるいは論考」は、願書とは別の封筒を使用し、速達書留郵便により提出すること。送り先は「本学部教務係」とし、封筒表に「音楽音響創造入試『作品（または論考）』在中」と大きく明記すること。提出は、出願期間内に行うものとし、同期間内の消印のあるものを受理する。</p> <p>(A) 「研究計画書」について 本学所定の様式を使用し、入学後の研究計画を1200～1600字で具体的に記述すること。</p> <p>(B) 「作品あるいは論考」について 下記(1), (2), (3)のいずれかを提出すること。(返却しない)</p> <p>(1) 音楽作品の創作技法を評価の対象として希望する場合 録音された自作品2～3点(*)とその楽譜または解説。(1作品につきA4用紙4枚以内、公開された作品の場合は、公開の年月日、場所、演奏者や機材のシステムなどのデータを記入すること)</p> <p>(2) 録音技術を評価の対象として希望する場合 既存の曲(オリジナル作品も可)を自ら録音した作品(5～10分程度)1～2点(*)と、それについての解説。(1作品につきA4用紙4枚以内、録音、ミキシングに関する詳しいデータを記入すること)</p> <p>(3) 音楽や音響の研究を評価の対象として希望する場合 音楽・音響に関する日本語による論考(本文4000字程度、形式は自由)</p> <p>(*) 音のみの作品の場合はCD-R, DVD-R, Blu-rayで、映像をとまなう場合はDVD-R, Blu-rayで提出する。また、再生にあたって特別な注意を要するときには、それについても解説に記入すること。作品(メディア)と楽譜または解説は、各作品ごとに氏名と題名を書いた封筒に入れること。</p>

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	芸術環境創造	<p>1. 記述試験（試験時間 2 時間） 芸術運営，舞台芸術，文化研究に関する記述試験。（各分野から 2 問ずつ計 6 題出題される設問のうち， 3 問を選択して解答する）</p> <p>2. 口述試問 主に，提出された「研究計画書」，「作品または論考」に即した試問を行う。質疑応答を含め 1 人 20 分程度で実施する。</p> <p>※ 受験者全員願書提出時に(A)「研究計画書」及び(B)「作品あるいは論考」を提出すること。なお，「研究計画書」は，願書と同封の上提出すること。また「作品あるいは論考」は，願書とは別の封筒を使用し，速達書留郵便により提出すること。送り先は「本学部教務係」とし，封筒表に「芸術環境創造入試『作品（または論考）』在中」と大きく明記すること。提出は，出願期間内に行うものとし，同期間内の消印のあるものを受理する。</p> <p>(A) 「研究計画書」について 本学所定の様式を使用し，入学後の研究計画を 1200～1600 字で具体的に記述すること。</p> <p>(B) 「作品あるいは論考」について 下記の(1)，(2)のいずれかを提出する。（返却しない）</p> <p>(1) 研究成果，活動歴を示すもの（400 字以内の概要を含む） 作品（映像，戯曲，批評） 1～2 点，作品の記録（コンサート，展覧会，パフォーマンス，舞台作品の記録など） * 音楽作品は CD-R，DVD-R，Blu-ray で，映像作品は DVD-R，Blu-ray で提出する。 * 戯曲，批評は形式を問わない。</p> <p>(2) これまで研究した芸術環境創造に関する日本語による論考（4000 字程度）</p>

2. 語 学

専 攻	研 究 分 野	試 験 内 容
作 曲 声 楽 器 指 揮	全 研 究 分 野	英・独・仏・伊語の中から1科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く） 試験時間：1時間30分
邦 楽	全 研 究 分 野	国語古文1科目……大学学部卒業程度 ※辞書使用不可 試験時間：1時間30分
音 楽 文 化 学	音 楽 学	英・独・仏・伊・露・西語の中から2科目選択……大学学部卒業程度 ただし、「日本・東洋音楽史」ならびに「音楽民族学」志願者は、うち1科目のみ選択し、受験する。 ※辞書使用不可 試験時間：3時間（1時間30分×2科目）。ただし1科目の場合1時間30分。
	音 楽 教 育 ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> ・「楽器等の実技試験」の選択者（邦楽以外） 英・独・仏・伊語から1科目（大学学部卒業程度）を受験する。 ※辞書使用可（電子機器の物は除く）。試験時間：1時間30分 ・「楽器等の実技試験」の選択者（邦楽） 国語古文1科目（大学学部卒業程度）を受験する。 ※辞書使用不可。試験時間：1時間30分 ・「音楽学の筆記試験」の選択者 音楽学研究分野において課されている語学試験を受験する。 ※辞書使用不可。 試験時間：3時間（1時間30分×2科目）。ただし、1科目の場合1時間30分。
	応 用 音 楽 学	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から1科目…大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く） 試験時間：1時間30分
	音 楽 文 芸	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から2科目…大学学部卒業程度 ※辞書使用不可 試験時間：3時間（1時間30分×2科目）
	音 楽 音 響 創 造 芸 術 環 境 創 造	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から1科目…大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く） 試験時間：1時間30分

3. 基礎学科目（音楽史）

研究分野	試 験 内 容
全 研 究 分 野 (作曲専攻を 除く)	<p>音楽史について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 声楽を中心とする音楽史（西洋音楽史） 2. 鍵盤楽器を中心とする音楽史（西洋音楽史） 3. 弦楽・管打楽器を中心とする音楽史（西洋音楽史） 4. 日本を含む東洋音楽史 <p>出願時、上記4系列から1系列を選択する。各系列においてそれぞれ3問題ずつ出題するので、受験者は、その中から任意に2問題を選択し解答する。 ただし、音楽文化学専攻受験者は、出願時、上記4系列から1系列を選択する必要はなく、出題される全12問題の中から系列を問わず任意に2問題を選択し解答する。 出題程度は、専門の音楽大学における各科またはコース別音楽史概説の程度を超えないものとする。試験時間：2時間</p>
作 曲 専 攻	<p>音楽史（西洋音楽史、日本を含む東洋音楽史）に関して計6問題を出題するので、受験者は、その中から任意に2問題を選択し解答する。 出願時に系列を選択する必要はない。 出題程度は、専門の音楽大学における各科またはコース別音楽史概説の程度を超えないものとする。試験時間：2時間</p>

4. 面接

研究分野	受験対象者
古楽	受験者全員
オルガン・管打楽・指揮・邦楽(専攻)	(1)他大学出身者 (2)本学出身者のうち、学部の専攻と受験する修士課程の専攻が異なる者
作曲・独唱・オペラ・ピアノ・弦楽・室内楽・音楽学・音楽教育・ソルフェージュ・応用音楽学・音楽文芸・音楽音響創造・芸術環境創造	面接を行わない。

5. 音楽に関する基礎能力検査

①「基礎能力検査」受験対象者及び試験内容

他大学出身者（本学出身者を除く）のうち以下に指定する研究分野等の受験者には、以下の通り「基礎能力検査」を課す。

受験対象者		基礎能力検査科目及び試験内容	
研究分野	楽器名等		
作曲 独唱 オペラ ピアノ オルガン 弦楽 管打楽 室内楽 古指		実施しない	
三味線音楽	長唄三味線	「長唄」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「老松」（四代目杵屋六三郎作曲）	
	常磐津三味線	「常磐津」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「将門」（宝田寿助作詞，五世岸沢式佐作曲）	
	清元三味線	「清元」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「北州」（大田蜀山作詞，川口直作曲）	
	長唄	「長唄三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「老松」（四代目杵屋六三郎作曲）	
	常磐津	「常磐津三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「将門」（宝田寿助作詞，五世岸沢式佐作曲）	
	清元	「清元三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「北州」（大田蜀山作詞，川口直作曲）	
箏曲	山田流	口述試問（志望理由及び山田流箏曲の専門知識についての審査）	
	生田流	「箏曲音楽理論」（楽器〈箏・十七絃・三絃〉及びそれらの取扱い，調絃，楽譜，演奏法，唱歌，歌唱法など歴史を除く生田流箏曲全般にわたるものの中から出題される。）	
尺	八	「箏」または「三絃」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。	
能	楽	「能楽囃子」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） （四拍子より1楽器を演奏する。自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。	
能	楽	囃子	専攻以外の四拍子より1楽器および謡曲を演奏する。（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。
邦	楽	囃子	専攻以外の四拍子より1楽器を演奏する。（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。

(次ページに続く)

受験対象者		基礎能力検査科目及び試験内容
研究分野	楽器名等	
日本舞踊		次の中から1つを選択し受験すること。 1. 長唄三味線：「五郎時致」（十代目杵屋六左衛門作曲） 2. 常磐津三味線：「松島」（河竹黙阿弥作詞，六代目岸沢式佐作曲） 3. 清元三味線：「四君子」（鎌田徳之助作詞，二世清元梅吉作曲） 4. 長唄：「五郎時致」（十代目杵屋六左衛門作曲） 5. 常磐津：「松島」（河竹黙阿弥作詞，六代目岸沢式佐作曲） 6. 清元：「四君子」（鎌田徳之助作詞，二世清元梅吉作曲） 7. 邦楽囃子（四拍子より1楽器を選択）：「五郎時致」（十代目杵屋六左衛門作曲） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。
音楽学	音楽美学 西洋音楽史	ピアノ，聴音，初見唱，楽典
	音楽民族学 日本・東洋音楽史	実施しない
音楽教育	『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」』において「邦楽」を選択しなかった者	ピアノ（ピアノ専攻を除く），聴音，初見唱，楽典（作曲専攻除く）
	『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」』において「邦楽」を選択した者	本表，三味線音楽，箏曲，尺八，能楽，能楽囃子，邦楽囃子および日本舞踊各研究分野の項記載の通り実施する。
ソルフェージュ	『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」』において「邦楽」を選択しなかった者	実施しない
	『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」』において「邦楽」を選択した者	本表，三味線音楽，箏曲，尺八，能楽，能楽囃子，邦楽囃子および日本舞踊各研究分野の項記載の通り実施する。
応用音楽学		実施しない
音楽文芸		実施しない
音楽音響創造		実施しない
芸術環境創造		実施しない

②基礎能力検査科目「ピアノ・聴音・初見唱・楽典」の試験内容

基礎能力検査科目	試験内容
ピアノ	ハイドン，またはモーツァルトのソナタより1曲を選択し，任意の楽章を演奏する。 （注） 1）繰り返しは除く。 2）楽譜を見ても良い。 3）当日，時間の都合により一部を省略させることがある。 4）本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。
聴音	30ページ例題の程度
初見唱	30ページ例題の程度
楽典	試験時間1時間

基礎能力検査（聴音・初見唱）

例題

●聴音書き取り

1) 単旋律



2) 複旋律



3) 四声体和声



●初見唱

Moderato (♩=84)



IX 選 抜 期 日

1. 第1期選抜試験（対象：作曲専攻以外のすべての受験者）
平成25年9月13日（金）～9月24日（火）
2. 第2期選抜試験（対象：作曲専攻受験者）
平成26年2月4日（火）～2月14日（金）

（注）各専攻の選抜試験期日は「XIV入学者選抜試験実施日程表」（折込）に記載されている。

X 最終合格者の発表

1. 第1期選抜試験（対象：作曲専攻以外の全ての受験者）
…平成25年9月27日（金）午後4時以降音楽学部内に掲示及び本学ホームページで発表する。
2. 第2期選抜試験（対象：作曲専攻）
…平成26年3月1日（土）午後2時以降音楽学部内に掲示及び本学ホームページで発表する。

本学ホームページ（<http://www.geidai.ac.jp/enter/index.html>）でも合格者の受験番号を掲載します。（中間発表においては、掲示された日程等も併せて掲載します。）

入学試験実施日程表に示してある中間及び最終合格者発表の日時のそれぞれ1時間後に掲載する予定です。（中間発表：各発表日午後5時頃、最終発表：作曲専攻…3月1日午後3時頃 作曲以外のすべての専攻…9月27日午後5時頃）

※時間未定となっている中間発表についても、掲示発表1時間後に掲載します。

発表前後はアクセスが集中し、つながりにくい場合があります。その際は、時間を改めて再度アクセスしてください。

- （注）
1. 電話・電子メール等による合否等の問い合わせには、一切応じない。
 2. 合格者には、3月3日（月）（予定）に入学手続き書類を発送するので、出願時に「入学手続き書類送付用宛名ラベルシール」を願書と一緒に必ず提出すること。
※宛名は日本国内に限るため、海外在住者は日本国内の代理人を指定して下さい。
※合格したにもかかわらず入学手続き書類が3月7日（金）までに到着しない場合には、音楽学部教務係に連絡してください。
 3. 入学の条件
 - ① 指定期日に所定の入学手続きを完了すること。
 - ② 平成26年3月大学卒業見込で受験し最終合格した者は、大学を卒業していること。
 - ③ 独立行政法人大学評価・学位授与機構に学士の学位を申請している者は、学位が授与されていること。

XI 入学手続等について

1. 手続期間
持参受付：平成26年3月14日（金）及び15日（土）
午前10時から12時、午後2時から5時（14日は午後4時まで）
郵送受付：平成26年3月14日（金）必着
2. 手続場所
東京芸術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8
3. 納入金
入 学 料 282,000円（予定額）（国費外国人留学生は納入不要）
入学手続き終了者が平成26年3月31日までに入学辞退を申し出た場合でも、入学金は返還しない。

* 参考までに、入学者には上記納入金以外に次のような経費が必要となる。

- ・ 学生教育研究災害傷害保険料 1,750円
- ・ 同窓会会費（同窓会費） 60,000円（他大学出身者及び本学出身の未納者）
- ・ 音楽教育振興会費 30,000円

（音楽教育振興会：音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）

※授業料について

授業料（前期分） 267,900円（年額535,800円）〔予定額〕

（国費外国人留学生は納入不要）

- （注）
1. 4月中旬に保証人宛に郵送される振込依頼書により、4月末日までに納入すること。
 2. 前期分または年額（前期および後期分）のいずれかにより納入できる。
 3. 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用される。

XII 研究室及び指導教員

研 究 室	指 導 教 員		研 究 室	指 導 教 員	
作 曲 第 1	教 授	野 平 一 郎	ピ ア ノ 第 5	准 教 授	○有 森 博
	教 授	○小 鍛 冶 邦 隆		准 教 授	江 口 玲
	教 授	安 良 岡 章 夫	オ ル ガ ン	准 教 授	○廣 江 理 枝
	准 教 授	鈴 木 純 明	弦 楽 第 1 (ヴァイオリン)	教 授	○清 水 高 師
	准教授(兼)	林 達 也		准 教 授	玉 井 菜 採
作 曲 第 2	准 教 授	○林 達 也	弦 楽 第 2 (ヴァイオリン)	准 教 授	漆 原 朝 子
	教 授 (兼)	小 鍛 冶 邦 隆		教 授	○澤 和 樹
声 楽 第 1	教 授 (兼)	○川 上 茂	弦 楽 第 3 (ヴィオラ)	教 授 (兼)	松 原 勝 也
	教 授	勝 部 太		准教授(兼)	野 口 千 代 光
	准 教 授	菅 英 三 子	弦 楽 第 4 (チェロ コントラバス ハープ)	教 授	○川 崎 和 憲
教 授	○多 田 羅 迪 夫*	准教授(兼)		市 坪 俊 彦	
声 楽 第 2	教 授	福 島 明 也	管 楽 第 1 (木管楽器)	教 授	永 島 義 男
	准教授(兼)	平 松 英 子		教 授	○河 野 文 昭
声 楽 第 3	教 授	寺 谷 千 枝 子	管 楽 第 2 (金管楽器)	教 授	山 崎 伸 子
	教 授	○佐 々 木 典 子		准 教 授	高 木 綾 子
声 楽 第 4	教 授	○永 井 和 子	打 楽 器	教 授	山 本 正 治
	教 授	吉 田 浩 之		教 授	○小 畑 善 昭
	准 教 授	櫻 田 亮	室 内 楽	准 教 授	○栃 本 浩 規
教 授	○川 上 茂	准 教 授		古 賀 慎 治	
声 楽 第 5 (オペラ)	准 教 授	平 松 英 子	古 楽	准教授(兼)	日 高 剛
	教 授 (兼)	寺 谷 千 枝 子		教 授	○藤 本 隆 文
	教 授 (兼)	福 島 明 也	指 揮	教 授	○松 原 勝 也
	教 授 (兼)	多 田 羅 迪 夫		准 教 授	市 坪 俊 彦
	教 授 (兼)	佐 々 木 典 子	邦 楽 第 1 (三味線音楽)	准 教 授	日 高 剛
	教 授 (兼)	永 井 和 子		教 授	野 々 下 由 香 里
	教 授 (兼)	吉 田 浩 之	邦 楽 第 2 (箏 曲 尺 八)	准 教 授	○大 塚 直 哉
	教 授 (兼)	勝 部 太		教 授	○尾 高 忠 明
	准教授(兼)	菅 英 三 子	邦 楽 第 3 (能 楽 囃 子)	教 授 (兼)	澤 和 樹
	准教授(兼)	櫻 田 亮		准 教 授	○小 島 直 文
ピ ア ノ 第 1	教 授	○植 田 克 己	邦 楽 第 4 (邦 楽 囃 子 日 本 舞 踊)	准 教 授	味 見 純
	准 教 授	青 柳 晋		教 授	○萩 岡 松 韻
ピ ア ノ 第 2	教 授	○角 野 裕	邦 楽 第 1 (三味線音楽)	准 教 授	吉 川 さ と み
	教 授	伊 藤 惠		教 授	○武 田 孝 史
ピ ア ノ 第 3	准 教 授	○東 誠 三	邦 楽 第 2 (箏 曲 尺 八)	教 授	関 根 知 孝
	准 教 授	坂 井 千 春		准 教 授	露 木 雅 彌
ピ ア ノ 第 4	教 授	○渡 邊 健 二	邦 楽 第 3 (能 楽 囃 子)	准 教 授	盧 慶 順
	教 授	迫 昭 嘉		准 教 授	盧 慶 順

研 究 室	指 導 教 員		研 究 室	指 導 教 員	
音楽学 第 1 (体系的音楽学)	准教授	福中冬子	応用音楽学	教授	枝川明敬
	教授(兼)	○植村幸生		教授	○畑瞬一郎
音楽学 第 2 (西洋音楽史)	教授	○土田英三郎		教授(兼)	佐野靖
	教授	片山千佳子		教授(兼)	杉本和寛
	教授	大角欣矢		教授	檜山哲彦
音楽学 第 3 (日本・東洋音楽史)	教授	○塚原康子		音楽文芸	教授
	教授	植村幸生	准教授		○大森晋輔
音楽教育	教授	○佐野靖	准教授		侘美真理
	准教授	山下薫子	教授(兼)	畑瞬一郎	
	教授(兼)	塚原康子	音楽音響創造	教授	西岡龍彦
	教授(兼)	杉本和寛		教授	亀川徹
	准教授(兼)	照屋正樹		准教授	○丸井淳史
ソルフェージュ	准教授	テシュネ, ローラン	芸術環境創造	教授	熊倉純子
	准教授	○照屋正樹		准教授	○市村作知雄
	教授(兼)	佐野靖		准教授	毛利嘉孝

(注)1. ○印は研究室主任教員である。

2. 音楽学研究分野の合格者は、最終合格者発表後に配布される「指導教員希望用紙」を、指定された日までに提出すること。
3. 音楽学研究分野以外の合格者は、最終合格者発表後に配布される「実技担任教員希望用紙」もしくは、「指導教員希望用紙」を指定された日までに提出すること。
4. 声楽専攻合格者のうち、オペラ（声楽第5）講座を希望するものは、「声楽実技担任教員希望用紙」に書かれている希望の有無の欄に「有」と記入すること。提出後の希望の有無の変更は認めない。
5. 入学後、大学側の事情により所属研究室・指導教員が変更された場合には、その変更に従うこと。
6. 氏名欄に※印のある教員は、平成26年3月31日に定年退職の予定である。

XIII 個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）により、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- (1) 上記1.(1)～(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合格及び入学手続き等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限る）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- (3) 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - ①音楽教育振興会（音楽学部の教育研究，学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
 - ②杜の会（美術学部同窓会）
 - ③同声会（音楽学部同窓会）
 - ④東京芸術大学生生活協同組合

東京芸術大学大学院音楽研究科（修士課程）

学 生 募 集 要 項

平 成 25 年 7 月 発 行

東 京 芸 術 大 学